

グローバルPBLプログラム研究会 演習機会 ② PBLの実施効果の情報提供・評価

実際にPBLを設計・実施した後、どのように効果を測定し、成績評価を行うのか。

本講演ではまず、芝浦工業大学がグローバルPBLの効果測定の際に使用するグローバル・コンピテンシーの指標の特徴について説明する。その上で、本学での事例から、実際の効果測定および成績評価についての取り組みをグローバルPBLのオンライン実施成果を踏まえた最新の研究結果を含めて紹介する。そして、ルーブリックを提供し、PBL実施に係る課題とその解決策を提案する。また理工系だけでなく各分野への応用・発展の可能性について共有する。

講師① 相原 総一郎

AIHARA SOICHIRO



芝浦工業大学が
使用している
グローバル・
コンピテンシーの
指標の特徴と
最新データ

芝浦工業大学
教育イノベーション推進センター
特任教授

広島大学・大学教育研究センター助手、
大阪薫英女子短期大学教授、愛知教育
大学研究員を経て、2016年芝浦工業大
学入職。大学IRコンソーシアム理事。
学生調査等の大学IRに従事。
九州大学大学院博士後期課程修了、博
士（ライブラリーサイエンス）。

講師② 長澤 純人

NAGASAWA SUMITO



ロボット教材を
使った
グローバルPBLの
グループワーク
評価法の課題

芝浦工業大学 工学部
機械機能工学科 教授

東京大学博士研究員、東北大学講師を
経て2012年に芝浦工業大学に入職。
MEMS（微小電気機械システム）によ
るマイクロロボットの研究に従事。研
究テーマはマイクロロボットの作成・
制御手法や、ロボット教材による
STEM教育など。東京大学大学院博士
後期課程修了、博士（工学）。

講師③ 吉久保 肇子

YOSHIKUBO HATSUKO



グローバルPBLの
グループワーク
における
個別活動と
その評価方法

芝浦工業大学 工学部 准教授
先進国際課程（IGP）副課程長

2014年芝浦工業大学入職。英語学位ブ
ログラム「先進国際課程（IGP）」で
は、リベラルアーツを担当。現在関心
のある研究テーマは、インターディシ
プリナリーアプローチによるグローバ
ルPBLやCOILプログラムの開発。千葉
大学大学院博士課程後期修了、博士
（中世英文学）。

開催日時

2023年7月14日（金）

16:00-17:00

実施方法 オンラインZOOM

参加費 無料

【申込フォーム】

<https://forms.gle/ghmoVsMZjq7dknRA>

【共催】

芝浦工業大学
教育イノベーション推進センター
(理工学教育共同利用拠点)



キックオフ

他大学学生・教職員との横連携事例紹介

講師：千葉大学、福岡工業大学、中央大学
芝浦工業大学教員

終了

はじめてのPBL 演習機会①

PBLの設計（教員）

講師：芝浦工業大学教員（上岡英史教授）

終了

↓ 今後の予定

今回はこちら

PBLの効果測定 成績評価方法 演習機会②

PBLの実施効果の情報提供・評価

講師：芝浦工業大学教員
効果測定の取組紹介、課題などの共有

PBLの実施体制 （学内体制）

実施を支える学内体制の情報提供

講師（予定）：芝浦工業大学事務職員
学内体制だけでなく、外部委託についても触れる

PBL共同実施演習

PBL設計の模擬演習

グループに分かれ、企画実施準備を検討。
芝浦のPBL経験者教員も加わる 新たなPBL企画誕生への期待

グッドプラクティスの 共有

参加する他大学の実施事例の共有・ディスカッション
大学の体制・取組状況・単位認定・オンラインPBLの実施
その他問題への回答「協定校がない、テーマの設定が困難」

【お問合せ】

芝浦工業大学国際部SGU推進課
sgu-initiatives@ow.shibaura-it.ac.jp



芝浦工業大学

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Established 1927